

世界につながる海！

見る
聴く
話す

練習船鳥羽丸で行くユニバーサル造船所見学や
伊勢湾海上交通センター見学と伊良湖岬自然観察など

自主事業報告

故郷の海を愛する会

平成25年1月31日

練習船鳥羽丸で行くユニバサル造船所見学や
伊勢湾海上交通センター見学と伊良湖岬自然観察など

自主事業報告書

故郷の海を愛する会

平成25年1月31日

目 次

	ページ
0. 初めに	2
1. 「故郷の海を愛する会」の目的と組織	3
2. 『世界につながる海！ 見る・聞く・話す』の目的と計画.....	4
3. 「故郷の海を愛する会」の活動報告	
①練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学と故郷の海山川	
8月1日実施予定が台風接近のため 8月21日実施	5
②伊勢湾海上交通センター見学と伊良湖岬自然観察など	
8月23日 実施	15
③もうすぐクリスマス遊んで学ぼう！商船学校の歴史と体験	
12月15日 実施	24
4. 募集の為のポスター・リーフレットなど	29
5. 子供たちへの配布資料	30
6. アンケートの結果	33
7. 新聞記事等	43
8. 収支報告・ご寄付一覧	45
9. 主催者の感想・反省	47

0. 初めに

鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部のボランティアが立ち上げた「故郷の海を愛する会」の、地域の小中学生に船や海を知ってもらおうという活動は今年で4年目となりました。

今までの3年間は日本財団の助成を得て活動して来ましたが、今年度からはその助成が得られなくなりました。それでも「故郷の海を愛する会」ではこの活動に手ごたえを感じており、鳥羽商船同窓会、鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部の資金援助に加え、同窓生からの寄付、更には一般企業などからの寄付もお願いして活動を継続する事としました。

おかげ様で東邦ガス始め多くの企業・個人から賛同を得られ、活動を継続することが出来ました。
皆様のご理解・御協力に感謝いたします。

今年度の募集対象は従来と同じとしました。

小学5・6年生と中学生を募集対象とし、松阪・明和・玉城・伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢の地域を対象としました。

活動計画は

1回目は 練習船「鳥羽丸」で行く、ユニバーサル造船見学。 50名募集。

2回目は 伊勢湾海上交通センター見学と伊良湖岬自然観察など。 80名募集。

3回目は 商船学校の歴史・海の話・体験学習など。 50名募集。

1回目は8月21日に、2回目は8月23日に実施しました。

参加人員に関しては、1回目は募集50名のところ実施日が変更になったこともあり38名でした。

2回目は募集80名のところが103名と募集人員を大幅に超える人気となりました。

3回目は12月15日に実施しました。50名の参加となりました。

2回目の活動では、伊良湖ビューホテルのご協力を得て、子供たちは屋上展望台から伊良湖水道・渥美半島の絶景を堪能しました。参加者それぞれが青く広がる海や半島、行きかう船を眺めながら思いをはせていたように感じられました。

何か将来に夢を刻むことができたことでしょう。又、ロマンを感じてくれたでしょう。

今年度の活動の実施に際しては、ユニバーサル造船所、伊勢湾フェリー、伊良湖ビューホテル、伊勢湾海上交通センター、鳥羽海上保安部、NPO東三河自然観察会、鳥羽商船高等専門学校、鳥羽商船同窓会の協力を得て実施することが出来ました。

又、田原市には2回目の活動の伊良湖サイドでの実施に関し助言を頂きました。

みなさまのおかげで、多くの子供たちがこれらの活動を通して、いろんなことを知り、体験する機会を得ることが出来ました。感謝いたします。

1. 「故郷の海を愛する会」の目的と組織

本会の活動は伊勢湾沿岸の伊勢志摩松阪地区の子供たちの故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し、「希望と憧れ」の気持ちを醸成させる事を目的とします。

本会は国立鳥羽商船高等専門学校、国立鳥羽商船高等学校の卒業生を中心とし、同会の目的に賛同する人々が参集したボランティア団体です。

役員名簿		平成24年4月1日(現在)	
役職名称	氏名	常勤/非常勤の区分	職業
会長	古川 昭一	非常勤	無職
会長代行	三井 健次	非常勤	無職
副会長	川口 心也	非常勤	船舶コンサルタント
副会長	金田 譲	非常勤	船舶会社役員
事務局	江崎 隆夫	非常勤	舶用機関販売整備会社社長
理事	武部 二三男	非常勤	研究所所長
理事	山神 偵之亮	非常勤	無職
理事	大西 彰夫	非常勤	水先案内人
理事	溝井 昇	非常勤	団体職員
理事	山口 伸輔	非常勤	製材会社社長
理事	塙野 明俊	非常勤	団体職員
理事	上村 健太	非常勤	船舶会社機関長
理事	八木 菊平	非常勤	団体職員
理事	川原 伸次	非常勤	団体職員
理事	長谷川 真佐雄	非常勤	無職

2. 事業名『世界につながる海！ 見る・聴く・話す』の目的と計画

目的 : 地域の子供達が海洋国家の力(船を作る)・歴史(海と人の関わり)・教育(海の学校)・海で働く(船長・水先案内人の話)・海よりみる故郷を実体験することにより、海洋国家日本を認識することを目的とする。

目標 : 巨大船建造施設の見学、鳥羽丸体験乗船、伊勢湾海上交通センター（伊勢湾マーチス）の見学、渥美半島・伊良湖岬の自然観察、商船学校の施設の見学を行い、船長や水先案内人の話を聞き、素晴らしい日本と日本の海を認識し、「希望と憧れ」の気持ちを醸成させることを目標とする。

計画 : 各市町の教育委員会、鳥羽商工会議所、海上保安庁、ユニバーサル造船株式会社、伊勢湾フェリー（株）、東三河自然観察会、鳥羽商船高等専門学校、鳥羽商船同窓会の協力を得て、小学校5・6年生と中学生を対象とした、全3回の事業を開催する。

当初計画は以下の通りです。

1. 鳥羽商船練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学と故郷の海山川

- ① 時期：8月1日（予備日21日） 募集：子供50名、ボランティア20名
- ② 練習船「鳥羽丸」に乗船し、鳥羽商船高等専門学校から、ユニバーサル造船所間の往復を航海し、練習船体験航海と海より故郷を見る。
- ③ ユニバーサル造船津事業所岸壁に練習船を着岸し、同造船所施設の説明を聞き、建造中の船舶と造船所内施設の見学をする（バス利用）。

2. 伊勢湾海上交通センター（以後：伊勢湾マーチス）見学と伊良湖岬自然観察など。

- ① 時期：8月23日 募集：子供80名、ボランティア20名
- ② 伊勢湾フェリー鳥羽乗船場集合、フェリー定期便で伊良湖との間を往復し、フェリーではブリッジ等の見学をする。
- ③ 伊勢湾マーチスの見学（伊良湖水道を通る巨大船通航の管制の見学）。
- ④ NPO東三河自然観察会の案内で伊良湖岬や日出石門の見学、海浜植物観察や海岸漂着物を見る。

3. もうすぐクリスマス遊んで学ぼう！ 商船学校の歴史・海の話・体験学習

- ① 時期：12月中旬 募集：子供50名、ボランティア20名
- ② 現地集合・解散（鳥羽商船高等専門学校校内）
- ③ 体験学習と学校の施設（百周年記念会館を含む）を見学する。
- ④ 学校の歴史や現状・海に関連することのミニ講演会を予定。

3. 「故郷の海を愛する会」の活動報告

① 練習船「鳥羽丸」で行く造船所見学と、故郷の海山川

(8月21日 実施)

参加者の募集

事業①と②は夏休みに予定したので、6月から参加募集について準備作業を開始しました。

募集の対象は昨年同様に伊勢市・鳥羽市・志摩市・明和町・玉城町・松阪市・南伊勢町の小学5・6年生、中学生としました。

これらの市には、以下の数の学校があり、学生がいます。

	伊勢市	鳥羽市	志摩市	明和町	玉城町	松阪市	南伊勢町	合計
小学校数	24	9	19	6	4	36	6	104
中学校数	12	6	11	1	1	12	3	46
小学5・6年生	約2500	約400	約900	約500	約400	約3100	約200	約8000
中学生	約3700	約700	約1600	約700	約500	約4200	約400	約11800

昨年に倣い、案内用のポスター、リーフレットを用意し、7月12日には各市の教育委員会に提出、その後、各学校で掲示・配布して頂きました。

別途、PTA、スポーツ少年団、子育て支援G等の団体を訪問し、募集活動の協力を依頼しました。
i TV, 新聞社にも募集の案内をしていただきました。

参加者の募集に関して、新聞社などメディアの影響が大きい事を実感しました。

参加者

募集目標50名のところ、スケジュールの変更が有ったために最終的に38名の参加となりました。

小学2・4年生も6名含まれています。内訳は以下の表のとおりです。

(8月1日予定が台風接近の為、スケジュール変更し、8月21日に実施しました。)

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		明和町		玉城町		松阪市		南伊勢町		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小学2・4年生			3	2												3	2
小学5年生	7		3	4			1		1		1					13	4
小学6年生	7	2									2					9	2
中学1年生											2					2	0
中学2年生						2										2	0
中学3年生	1															1	0
合計	15	2	6	6	0	2	1	0	1	0	5	0	0	0	30	8	

主催者関係	参加者
-------	-----

同窓生等のボランティアとして11名が参加しました。この中には病気・負傷などの異常に備えた看護師1名が含まれています。

更に、鳥羽商船高等専門学校から職員3名、生徒3名がボランティアとして参加してくれました。又、鳥羽丸船長以下乗組み9名の協力を得ました。

鳥羽商船高等専門学校の藤田校長の送迎もありました。

参加者	性別		職務担当	担当班名	乗車バス
古川	男	会長		A副担当	1
三井	男	会長代理	総責任者	B副担当	1
川口	男	副会長	写真記録		1
江崎	男	理事	班責任者	C主担当	2
武部	男	理事	班責任者	B主担当	1
山神	男	理事	班責任者	D主担当	2
松本	男	会員	班責任者	A主担当	1
漆山	男	会員		C副担当	2
井村	女	会員(看護師)	救護係		1
西岡	男	会員	受付	D副担当	2
谷口	女	会員	受付		
境	男	教員	船内実技指導		1
瀬田	男	教員	船内実技指導		2
水野	男	教員	船内実技指導		2
谷水	女	学生	船内実技指導		1
下園	女	学生	船内実技指導		1
西岡	女	学生	船内実技指導		2



▲ドック内で各ブロックを結合中です。

当日の活動記録など

- 8:00 役員・ボランティア集合（役割等の説明）
- 8:30 受付開始（鳥羽商船高等専門学校、正門入った広場にて）
- 9:00 集合。受付後乗船前の話—三井会長代理、藤田校長。
グループ別に集合⇒桟橋に移動。
乗船前に船長・機関長の挨拶と乗船中の注意説明
- 9:30 出航（時間厳守）船内でライフジャケットの着用など救命設備の説明。
航海中に船橋・機関制御室見学、技業実習（4グループ毎に夫々20分程度）
伊勢湾を北上 デッキなどから海岸や街並み山並みを遠望。
- 11:30 ユニバーサル造船 津事業所 ドック横の浮き桟橋に到着。
ヘルメットを装着し下船。バス2台に分乗して造船所事業所室内に移動。
- 12:00 事業所室内で昼食。
- 13:00 事業所室内で、ユニバーサル造船所の説明・案内VTRを見ました。
鉄の重さを体感する為に用意された「鉄片」を持ちあげてみました。
造船所内見学（バスで移動しながら、ユニバーサル造船職員の説明を受けました）
* 1969年に開設され 敷地面積は、約737,800m²
* 長さが500メートルもあるドックが2本。
* 700t吊り上げられるクレーン。
* 建造中の鉄鉱石運搬船（30万トン）をドックゲート上で見学。
- 14:30 鳥羽丸に乗船
- 14:45 出航 鳥羽に向かいました
- 15:00 船橋・機関制御室見学、技業実習（4グループ毎に夫々20分程度）
- 16:45 鳥羽商船高等専門学校の桟橋に到着。 船長・機関長、関係者にお礼。下船。
桟橋で集合写真撮影
- 17:00 鳥羽商船高等専門学校校内で終わりの挨拶。全員事故もなく無事解散
- 17:45 役員・ボランティア解散

ほとんどの子供たちにとっては初めて見るもの・経験することばかりで、楽しそうでした。
伊勢湾の海や伊勢・鳥羽・松阪の山を体感し、故郷を知る、いい機会となつたと思います。

鳥羽丸乗船中には、船橋では海図の説明、レーダー等の航海計器の説明を受け、望遠鏡で伊勢湾を走る船や島を眺めました。機関制御室では船の推進とか電気の事を勉強しました。
ロープの結び方を練習するロープワークの実習も楽しかったようです。
出入港時に船の最も高い所にあるフライングブリッジから周りを見渡せた事も楽しかったようです。
船の揺れを経験し、軽い船酔いにかかった子供もいましたが、帰りの航海では全員が元気に楽しんでいました。

津のユニバーサル造船所では昼食の後、事務所内で造船所の生い立ち、建造している船の種類、船の建造過程、就航した船の役割などをVTRで勉強しました。

造船所で用意してくれた「鉄片」を持ちあげて、鉄の重さを体感しました。

その後、2台のバスに分乗し、船の建造に使用する鋼材の受取、鋼材の加工・組み立て、塗装、艤装、ブロック搭載と船の建造工程に沿って見学する事が出来ました。

途中でバスを降り、ドックゲートから巨大なドックの中で艤装工事中の鉱石専用船を見学しました。

間もなく完成し引き渡しされる大きな船も見る事が出来ました。

船が大きすぎて圧倒されていたようです。

子供達は大きな船をどのように建造するか知ることが出来ました。

造船所で建造された船が世界中を航海し、それらの船が日本に多くの原料・製品を輸入し、又、日本から多くの製品を輸出していることを知り、船が日本人の生活に大いに役立っていることも学びました。

子供たちは鳥羽丸乗船、造船所見学を通して「船」「海」を知りました。

後日、参加した子供たちに集合写真・グループ別写真などを郵送しました。



▲お疲れさまでした！鳥羽丸をバックに記念撮影

活動記録写真



▲受付け中。38名参加。遅刻なし。



▲乗船前の鳥羽丸船長の注意など。



▲鳥羽丸で津の造船所向け航海中。



▲操舵室で見学



▲ロープワーク体験



▲機関室で勉強



▲津造船所に到着



▲バスで構内移動



▲楽しい昼食



▲ビデオで説明をうけました。



▲鉄の重さ体感



▲この鉄板が大きな船となります。



▲鉄板が鉄の塊（ブロック）になりました。



▲子供たちが見た大型船の船尾プロペラや舵が見えます。



▲造船所から出港、造船所の人達、「ありがとう」



▲メモを取っている熱心な学生



▲鳥羽、伊勢、松阪 わかるかなーー



▲おつかれさまでした。 左端商船学校長

活動に使用した鳥羽丸の紹介

鳥羽商船高等専門学校
練習船 鳥 羽 丸

Toba National College of Maritime Technology
Training ship TOBA-MARU



主 要 目

1. 主要寸法等

長さ(全長)	40.00m
長さ(垂線間)	35.00m
幅(型)	8.00m
深さ(型)	3.30m
満載吃水(型)	2.80m
総トン数	244t
2. 乗組員

乗組員	9名
教官	3名
学生	44名
合計	56名
3. 容積

燃料油槽	40.66m³
清水槽	52.74m³
バラスト水槽(船首水槽)	7.28m³
4. 主機及び発電機等

主機	ヤンマー MF29-UTD 1
4サイクル、低速ディーゼル機関	
1,300PS × 370rpm	× 1台
推進器	可変ピッチプロペラ
発電機	225KVA
バウスラスター	1.2t
5. 速力及び航続距離

試運転最大速力	
(試運転状態、100%負荷)	13.80ノット
航続距離	約2,300浬
6. 工程

竣工	1994年8月19日
----	------------

三井造船株式会社

PRINCIPAL PARTICULARS

1. PRINCIPAL DIMENSIONS, ETC.

Length (O.A.)	40.00m
Length (P.P.)	35.00m
Breadth (Mld.)	8.00m
Depth (Mld.)	3.30m
Full Load Draft (Mld.)	2.80m
Gross Tonnage	244t
2. COMPLEMENT

Officers & Crews	9p
Professors	3p
Students	44p
Total	56p
3. CAPACITY

Fuel Oil Tanks	40.66m³
Fresh Water Tanks	52.74m³
Water Ballast Tank (F.P.TK.)	7.28m³
4. MAIN ENGINE & GENERATORS, ETC.

Main Engine	YANMAR MF29-UTD 1
4cycle, Low speed DE	
1,300PS × 370rpm	× 1set
Propeller	C.P.P.
Generator	225KVA
Bow Thruster	1.2t
5. SPEED & ENDURANCE

Trial Max. Speed	
(trial condition, 100% load)	13.80kts
Endurance	abt. 2,300sea miles
6. SCHEDULE

Delivered	August 19, 1994
-----------	-----------------

Mitsui Engineering & Shipbuilding Co., Ltd.

ロープワーク体験

子供達は鳥羽丸乗船中にいくつかのロープワーク体験をしました。その一例です。

・ボーラインノット（もやい結び）

「結びの王様」といわれるほど結び方が簡単で、いくら荷重がかかっても抜けたり解けたりしない。しかも解く時は、簡単に解けるという安全確実な結び方である。欠点としては、荷重の掛かっているロープは結べず、解けない。

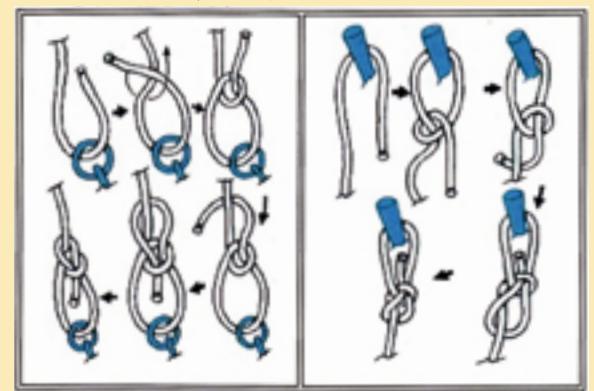
・ダブルシートベンド（ふたえつなぎ）

2本のロープの端と端をつなぎ合わせる場合に用いる簡単で迅速にできる結び方で、シートベンドにはシングルとダブルがある。

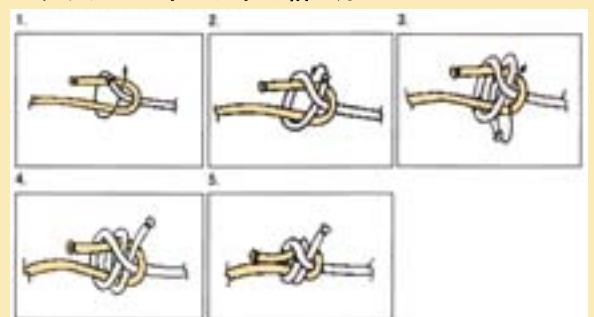
・クラブヒッチ（まき結び）

両端を内側にした2個の輪を作るよう結ぶ。簡単で安定した結びであるが、動搖等で簡単に解けてしまう心配がある。

■ボーラインノットの結び方



■ダブルシートベンドの結び方



船内見学の様子



▲時を知らせる鐘



▲スカイライトから機関室をのぞいている

ユニバーサル造船所で勉強



3. 「故郷の海を愛する会」の活動報告

② 伊勢湾海上交通センター見学と伊良湖岬自然観察など

(8月23日 実施)

参加者の募集

募集の案内は活動その①と②を同時に行いましたが、締め切りはそれぞれ別々にしました。
案内の詳細に関しては①を参照ください。

参加者

募集目標80名のところ、最終的に103名の参加となりました。

募集対象外の亀山市、津市から夫々1名の応募がありましたが、参加してもらいました。

南伊勢町からは誰も応募がありませんでした。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		明和町		玉城町		松阪市		その他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小学2・3・4年生	1		3	2			3				1					8	2
小学5年生	15	5		3	5	1		5	1		4	1		1	25	16	
小学6年生	11	2	2			2			8		11				32	4	
中学1年生	1				3	2					2				6	2	
中学2年生					3										3	0	
中学3年生	2										2			1	4	1	
合計	30	7	5	5	11	5	3	5	9	0	20	1	0	2	78	25	

主催者側 参加者

同窓生等のボランティアとして18名が参加しました。それに加えて参加の子供たちの父兄が6名ボランティアとして参加してくれました。新聞記者1名も同行となりました。

参加者	性別	職務担当	班担当名	グループ
古川	男	会長	バス誘導	
三井	男	会長代理	総責任者	B副担当
川口	男	副会長	写真記録	フリー
江崎	男	理事	班責任者	C主担当
武部	男	理事		C副担当
山口	男	理事	班責任者	E主担当
山神	男	理事		E副担当
川原	男	理事	班責任者	F主担当
塩野	男	理事	班責任者	A主担当
長谷川	男	理事	班責任者	B主担当
松本	男	会員		A副担当
漆山	男	会員	班責任者	D主担当
井村	女	会員(看護師)	救護係	バス救護所
井村	女	会員(看護師)	救護係	
西岡	男	会員	受付	F副担当
小野田	男	ボランティア		サシバ
山口	女	ボランティア		A副担当
三井	女	ボランティア		F副担当
永井	男	ご父兄ボランティア	受付	E副担当
柳沢	女	ご父兄ボランティア		A副担当
山川	女	ご父兄ボランティア		B副担当
中世古	男	ご父兄ボランティア		D副担当
橋爪	男	ご父兄ボランティア		C副担当
長崎	女	ご父兄ボランティア		F副担当

当日の活動記録など

- 8:00 役員・ボランティア集合（役割等の説明）
8:30 受付開始（伊勢湾フェリー鳥羽ターミナル）、ターミナル2階にて待機
9:00 受付け終了。会の責任者挨拶。
9:20 乗船開始。
9:30 フェリー鳥羽出港。班ごとに活動時の注意など。
9:45 伊勢湾フェリーの船橋を交代で見学
10:25 フェリー伊良湖到着、下船。

以降イルカグループとサシバグループに分かれて行動。

以下、イルカグループについて記述（サシバグループは午前午後が逆になる）

- 10:30 徒歩で伊勢湾マーティス向け出発。
10:45 伊勢湾マーティス見学
11:35 伊勢湾マーティス出発、徒歩で恋路ヶ浜へ
11:50 バスに乗車、伊良湖ビューホテルへ
12:10 伊良湖ビューホテルで昼食、休憩。（この間、サシバグループと合流）
12:50 伊良湖ビューホテル展望台で東三河自然観察会の説明を受け、集合記念写真。
13:30 バスで日出石門に向かって出発
13:40 日出石門見学、東三河自然観察会の説明を受けました。
14:20 バスで伊良湖岬茶屋駐車場に向かって出発
14:30 伊良湖遊歩道を東三河自然観察会の案内でウォーキング
15:30 クリスタルポルト到着（サシバグループと合流）

以降両グループは合流。

- 16:20 伊良湖ターミナルにてフェリー乗船。
16:30 フェリー、伊良湖出港。船中でアンケートに記入。
17:30 フェリー、鳥羽到着。各人下船、鳥羽ターミナル2階に集合。
17:40 終了前に責任者挨拶。参加者解散。
18:00 ボランティア解散。

伊勢湾フェリーのご厚意により船橋見学をさせて頂きました。

子供たちは大きな船の船橋で乗組員から説明を受け、伊勢湾・伊良湖水道を見て楽しみました。

イルカの出現を期待していた子供たちもいたようですが、残念でした。

伊勢湾マーティスでは伊良湖水道を通過する船舶の交通管制をしている制御室を見学し、屋上ではP C C、L N G船等の大型船の通過を見ました。

伊良湖水道が広いようで意外と狭い事、航路として設けられているブイの外側は浅い事等を知る事が出来ました。

伊良湖ビューホテルの昼食はビュッフェスタイルで、初めのうちは戸惑っていた子供たちも段々と慣れてきて次々に好みの料理・デザートを楽しんでいたようです。その後、屋上の展望台で太平洋、伊良湖水道、神島や鳥羽の島々、渥美半島などなど360度のパノラマを満喫しました。

東三河自然観察会の方々の案内で日出石門や恋路ヶ浜を散策しました。

- ・日出の石門では「日出の石門とチャート」、「椰子の実」
- ・恋路ヶ浜遊歩道では「海辺の植物」、「伊良湖水道」 等々の説明を受けました。

猛暑の夏でしたが、当日はやや落ち着いた暑さだったので無事終了出来ました。

後日、参加した子供たちに集合写真・グループ別写真などを郵送しました。



▲伊良湖ビューホテル屋上にて イルカ グループ



▲恋路ヶ浜にて サシバ グループ

活動記録写真



▲受付け中。103名参加。遅刻なし。



▲始まりの挨拶と注意



▲伊勢湾フェリー船内で



▲船橋で見学



▲伊勢湾海上交通センター見学



▲伊良湖水道をLNG船が通過



▲伊良湖ビューホテルで昼食



▲ビューホテル屋上展望台から伊良湖水道



▲ビューホテル屋上で説明を受けた



▲日出の石門前で説明を受けた



▲日出の石門案内板



▲日出の石門



▲伊良湖岬自然観察。



▲伊良湖灯台



▲はまなでしこ



▲ねこのした



▲名も知らぬ遠き島より流れ寄るヤシの実一つ。
活動当日に釣り人がヤシの実を拾ってきた。



▲帰りの船の中。くつろいでいます。

伊勢湾マーチスの資料

● 航行管制業務 NAVIGATION CONTROL

七言詩

船トン数 3,000 トン以上又は全長 130m 以上の船舶及び危険物積載船は、伊良湖水道航路を航行しようとするときは、当センターへ航路通报を行わなければなりません。

执行管制信号

巨大船(全長200m以上の船舶)が伊良湖水道航路を航行する場合、全長130m以上200m未満の船舶に対し、電光表示板により航行外待機を指示しています。この管制信号は、巨大船の航路入射 15 分前からその巨大船が航路を通過し終わるまでの間実施します。

地図	信号の意味
「N」の点滅	伊良湖本道航路を左進（直進）しようとする全長130m以上200m未満の船舶は航路を待機して待機しなければならない。
「E」の点滅	伊良湖本道航路を左進（直進）しようとする全長130m以上200m未満の船舶は航路を待機して待機しなければならない。
「N」「E」交互点滅	伊良湖本道航路を左進しようとする全長130m以上200m未満の船舶は航路を待機して待機しなければならない。

假面舞会

船トン数1,000トン以上の船舶は、当センターから情報提供を適切に行うために、レーダーで各船舶を識別する必要がありますので、最初の位置情報ライン(位置情報ライン位置図参照)に達したときに位置情報を行って下さい。ただし、AISを搭載し適切に運用している船舶については、船舶の位置情報ラインに達するまでの間に、当センターとVHFによる連絡設定を行っている場合は、位置情報を省略することができます。

【資料整理】

- 卷之三



● 情報提供業務

机密文件

航法や悪天候などの情報をVHF無線電話（CH13, 14, 16, 22）、一般加入電話（0531-34-2445, 2446）やFAXメッセージで提供します。

编辑推荐

自船の船位や他船の動静などをVHF無線電話、一般加入電話やAISメッセージ問い合わせに對して情報提供します。

- 式の場合、センターからVHF無線電話等で船舶を呼び出し
・衝突等の危険が予測された場合の注意報起
・航法修正のための注意報起

第一单元



海上交通の安全と運航能率の向上
それが私たちの仕事です。

伊勢灘海上交通センターは、伊良湖水道航路及び付近海域における船舶の安全かつ効率的な運航の確保・向上を目指しています。ここでは、伊良湖水道航路を航行する船舶に対し、航路の状況・通航船艇の動向・気象の状況等船舶交通の安全に必要な情報を提供する情報提供業務と入航順序の時刻調整や航路入航制限等を行う航行管制業務を行っています。

四



● AIS(船舶自動識別装置)

A15-1

船舶の動的情報、静的情報及び機関間連情報はVHF衛星電波により自動的に送受信し、船舶局相互間及び船舶局と陸上の海上交通センター等の航行援助施設等との間で情報の交換を行うシステムです。また、AISサービスエリア内の船舶に気象の状況等、船舶交通の安全に必要な情報をメッセージ化して提供します。



東三河自然観察会

自然観察会の方々は手書きの資料を用意して子供たちにわかりやすく説明してくれました。



間瀬 美子さん（副会長・事務局）



高橋 康夫さん（副会長）

1. 遠き島より流れ寄るヤシの実一つ

平成24年7月17日、「遠き島よりヤシの実一つ」渥美半島に流れ着いたそうです。

田原市では平成11年度から島崎藤村の詩「椰子の実」を再現しようと、沖縄県石垣島からヤシの実を毎年100個前後 海に流しています。

平成13年にはそのうちの1つが渥美半島に、別の2つが三重県阿児町国府白浜海岸に漂着しています。
そして11年ぶりに、今年、1つが渥美半島に漂着しました。

そして、活動その②の当日、釣りに来ていた人が「椰子の実」を風力発電所の近くの浜で見つけたと伊勢湾フェリー伊良湖ターミナルに届けてくれました。

これにはタグはついていませんが、南の島から流れ寄ったヤシでしょう。



▲島崎藤村の歌碑「椰子の実」



▲ヤシの実 漂着記念

2. 日出の石門



3. 海浜の動植物



4. 伊良湖灯台と伊良湖水道



▲海岸に最も近い所にある伊良湖灯台



▲伊良湖水道と鳥羽湾の海図

3. 「故郷の海を愛する会」の活動報告

③ もうすぐクリスマス 遊んで学ぼう！商船学校の歴史・船と海の話

(12月15日 実施)

参加者の募集

11月下旬から今年の事業①と②の参加者を対象にゆうメールと電話にて募集活動を行いました。最終的に予定通りの50名の応募がありました。

参加者

目標の50名が参加してくれました。

鳥羽・志摩・伊勢からの参加者が多くなりました。

又、女子は志摩からの参加者が10名となりました。

中学3年生が8名参加となりましたが、鳥羽商船入学を目指している子供たちと思います。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		明和町		玉城町		松阪市		その他		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学34年生				1		3									0	4
小学5年生	6		1			1		2		2	2			1	9	6
小学6年生	2		8	2		3			2						12	5
中学1年生					3	2									3	2
中学2年生						1									0	1
中学3年生	1		5								2				8	0
合計	9	0	14	3	3	10	0	2	2	2	4	0	0	1	32	18

主催者側 参加者

同窓生等のボランティアとして12名が参加しました。それに加えて参加の子供たちの父兄が8名ボランティアとして参加してくれました。

更に、鳥羽商船高等専門学校から職員3名、生徒13名がボランティアとして参加してくれました。藤田鳥羽商船高専校長にも参加して頂きました。

参加者	性別		職務担当	班担当名
古川	男	会長	総責任者・記録	
三井	男	会長代理	副責任者・記録	
川口	男	副会長	写真記録	
江崎隆	男	理事	班責任者	D主担当
武部	男	理事	班責任者	C主担当
山神	男	理事	班責任者	B主担当
川原	男	理事	講師補助	
塩野	男	理事	班責任者	A主担当
松本	男	会員	班	A副担当
漆山	男	会員	班	D副担当
江崎修	男	会員	講師・体験	
北端	男	会員	班	C副担当
西岡	男	会員事務局	事務局受付	
北端	女	ご父兄ボランティア	昼食会場	
山本	女	ご父兄ボランティア	昼食会場	
城山	女	ご父兄ボランティア	昼食会場	
橋爪	男	ご父兄ボランティア	昼食会場	
長崎	女	ご父兄ボランティア	班	B副担当
松井	女	ご父兄ボランティア	昼食会場	
木下	女	ご父兄ボランティア	昼食会場	
山下	女	ご父兄ボランティア	昼食会場	

当日の活動記録など

- 8:30 役員・ボランティア集合（役割等の説明）
 9:15～ 受付開始（百周年記念館）、受付後、マルチメディア教室に移動
 10:00～ 始めの挨拶。会長代行 三井
 10:15～ 「伊勢湾で働く海のパイロット」 講師 伊勢三河湾水先人 小林 司 氏
 10:50～ 「ロボットの目を作る！」 講師 鳥羽商船高専准教授 江崎 修央氏
 11:30～ 昼食 ビンゴゲームなど
 12:45～ 近藤真琴記念碑前で記念撮影
 13:00～ 「海の安全について」 講師 鳥羽海上保安部交通課 土田 康二氏
 13:40～ 遊んで学ぼう 4班に分かれての体験
 1. 於：CAD/CAM実験室 Kinec t アプリで遊びましょう
 2. 於：白菊寮食堂 ロボコン全国大会出場「たこのハッちゃん」実演
 3. 於：内燃機関室 ディーゼルエンジンを動かそう
 4. 於：操船シミュレータ室 巨大船を操船しよう
 5. 百周年記念館の見学
 15:25～ アンケートの記入・提出
 15:30 おわりの挨拶 鳥羽商船高専 学校長 藤田 稔彦氏
 その後、解散
 16:00 ボランティア 解散

朝から生憎の雨で、子供たちの集まりが気がかりでしたが、全員受付時間内に集合となりました。活動その①②に参加した子供たちも多く、子供たち同士、子供たちとボランティアで「久しぶり、元気ー」と挨拶を交わしていました。

3つの講演に子供たちは熱心に耳を傾けていました。

体験活動は4班に分かれて実施しました。

高専ロボコン全国大会出場の「たこのハッちゃんの操作」、現役パイロットの指導による「巨大船操船」、大きな音にびっくりの「ディーゼルエンジン起動」、キネクトアプリでの遊び、等を体験しました。アンケートにもありましたが、子供たちはおおいに楽しみ学んでくれたようです。

後日、参加した子供たちに集合写真・グループ別写真などを郵送しました。



▲近藤真琴記念碑前で集合写真

活動記録写真



▲受付け中。応募者 50 名全員参加。遅刻なし。



▲故郷の海を愛する会の会長代行の挨拶



▲現役パイロットの話



▲マルチメディア室で熱心に聞く参加者



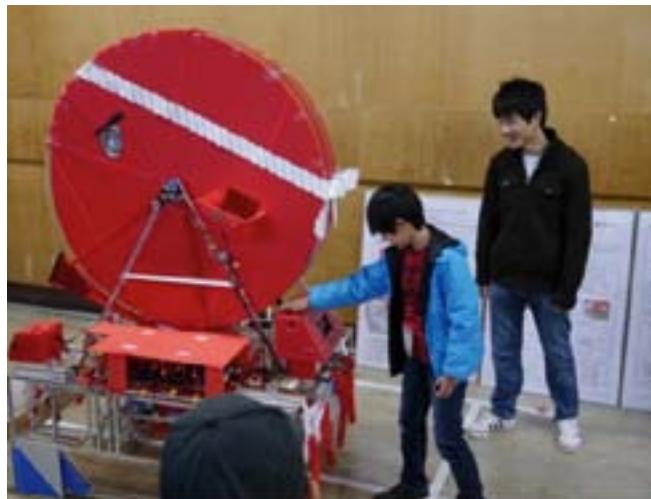
▲学校の准教授の話「ロボットの目をつくる」



▲昼食とbingoゲーム



▲たこのハっちゃん（ロボコン全国大会出場）



▲たこのハっちゃんをうまく動かせたかな——



▲操船シミュレーターで巨大船操船体験



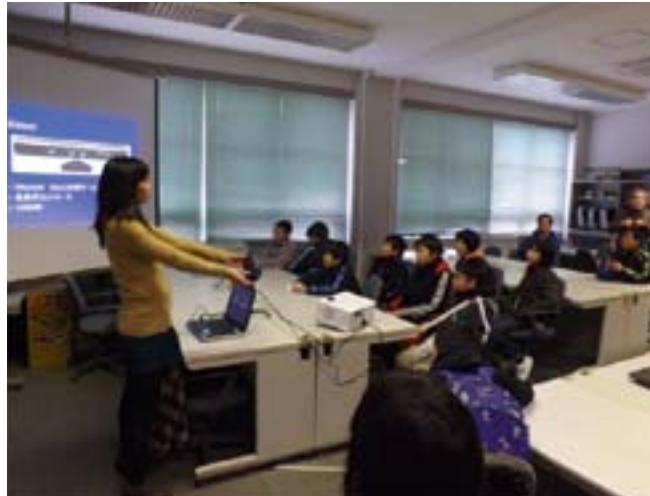
▲パイロットが指導



▲鳥羽海上保安部交通課の話「海の安全について」



▲ライフジャケットの使い方



▲Kinectアプリで遊びましょう



▲ディーゼルエンジンを動かそう



▲アンケートに記入中



▲最後に校長先生のお話

4. 募集の為のポスター・リーフレット

①、②活動 募集



③活動 募集



5. 子供たちへの配布資料

①回目

今日の予定、班別メンバー表、ボランティア一覧表など

2012/8/21

おはようございます
今日の予定

ユニバーサル
造船所内は
職員さんの
指示で!

施設の中は
船長さんと
乗組員さんと
指示で!

●班の確認は出来ましたか？ 班長さんよろしくお願ひします！
●班長さんを中心にして、仲よく・楽しく・元気に楽しみましょう！
●困ったことがあったら、担当のボランティアに相談しましょう。

8:30 受付開始

9:00 集合・朝のあいさつ 故郷の海を愛する会 会長代理 三井 健次
ごあいさつ 鳥羽商船高等専門学校 校長 藤田 稔彦
(受付後、グループ別に集まり集合 あいさつ⇒桟橋に移動・乗船)

9:30 出航 (時間厳守でお願いします)
伊勢湾を北上 デッキなどから海岸や街並み山並みをご覧いただきます。
(船内体験：船橋や制御室で話を聞く・デッキでロープワークなど)
※3班1組で行動します。開始時間は船内放送でお知らせします。

11:30 ユニバーサル造船 津事業所 ドック横の浮き桟橋に到着。
下船 バスにて⇒造船所内本部ビル会議室に移動します。
会議室にて昼食(お弁当配布)をすませて頂きます。

13:00 同会議室内で、ユニバーサル造船所の説明・案内VTRを見る。
ヘルメット配布 着用後に造船所内見学(ユニバーサル職員の案内)
* 造船所内では、バスを使いながら移動します。
* 1969年に開設され 敷地面積は、約737,800m²
* 長さが500メートルもあるドックが2本あります。
* 700t吊り上げられるクレーンもあるそうです。

14:30 鳥羽丸に乗船

14:45 出航 鳥羽に向かう
(船内体験、話を聞くなど)
※3班1組で行動します。

16:45 鳥羽商船の桟橋に到着予定。
アンケートの提出を忘れないで！

17:00 解散のあいさつ(気をつけてお帰り下さい)

船内
体験

- 船橋で「航海計器など」
- 制御室で「機械制御計器」
- ブーブデッキでのロープワークなど

その他配布資料

財団法人 日本海事広報協会
社団法人 日本船主協会

ユニバーサル造船株式会社



船のお仕事等シート
船ってサイコー、シッピングナウ、
DVD海の上のプロフェッショナルと冊子
船ができるまで

②回目

イルカ・サシバのグループ別に
今日の予定、班別メンバー表、
ボランティア一覧表など

時間	サシバ グループ (D・E・F)
8:50	受付終了後 2Fに説導
9:00	班別に整列
9:10	主催者あいさつ・注意
9:20	乗船開始
9:30	出港
9:50	順次プリング見学
10:15	グループ別での行動準備(トイレ)
10:25	下船
10:30	右手歩道へ ガイドさんの案内 散歩 ⇒ 解説 ⇒ 灯台 解説 ⇒ 湾頭Pへ 【45分間の予定】 バス発車 ⇒ 日出駐車場 歩道⇒ヤシの実歌碑 ガイドさん案内 浜辺⇒日出の石門 歩道⇒駐車場へ 【55分間の予定】
11:45	バス発車 ⇒ ホテル アル音 食事会場に移動 食事開始(ホテル案内) 【食事45分間の予定】 展望台(EV)【45分予定】 展望案内13:00～13:20 バス ⇒ 意路が浜Pへ 立場が浜P ⇒ 山登り 伊勢湾マーチス番 ※各 15分迄 会議室/制御室/屋上 制御室/屋上/会議室 屋上/会議室/制御室 5分間の見学予定】 見ながら ゆっくり山を下る タルボルト番 (トイレ) タルボルト前集合 自由時間 乗船準備 集合 伊良湖出港 →記入後は 自由時間 鳥羽のりば番 集合場所に説導 散のあいさつ どもたち解散
14:20	バス発車 ⇒ 意路が浜Pへ 撮影 歩道へ ガイドさん案内 散歩 ⇒ 解説 ⇒ 灯台 解説 ⇒ クリスタルボルトへ 【45分間の予定】 クリスタルボルト番 (トイレ)
15:30	クリスタルボルト前集合 自由時間 乗船準備 集合
16:10	伊良湖出港
16:30	アンケート記入後は 自由時間 鳥羽のりば番
17:25	2階 集合場所に説導 解散のあいさつ
17:40	子どもたち解散
18:00	

その他配布資料

財団法人 日本海事広報協会
社団法人 日本船主協会

伊勢湾海上交通センター
伊勢湾フェリー

船のお仕事等シート

船ってサイコー、シッピングナウ、
DVD海の上のプロフェッショナルと冊子
海上保安庁 愛します！守ります！日本の海
ペーパークラフト、ボールペン